



榎原チャレンジ!一歩前へ

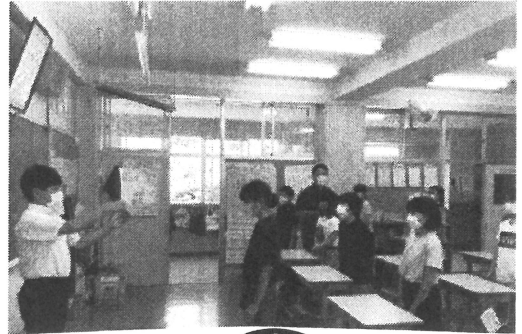
下郷町立榎原小学校
学校だより No.15
令和2年 6月19日
文責:校長 酒井 健

◇青少年赤十字(JRC)加盟登録式を行いました。

6月17日(水)、榎原小学校では、青少年赤十字(JRC)加盟登録式を行いました。全校生が集まって式を行いたかったのですが、3密を回避するというので、登録式は放送で、「加盟登録証」の授与は6年教室で実施しました。

青少年赤十字の活動が、どのようなことをしているのかを深く知り、自分が他の人のため、何ができるのかを考えたり、行動したりできるようになるために、榎原小学校は、青少年赤十字(JRC)に加盟しています。

「加盟登録式」では、運営委員会委員長の6年：湯田衣吹さんが、堂々と、「誓いの言葉」を述べることができました。



青少年赤十字加盟登録証 (JRC)

下郷町立榎原小学校

あなたがたは 令和2年度青少年赤十字に加盟しました

社会や人のためになる活動をすすんで実行することを希望します

令和2年 6月17日

日本赤十字社福島県支部長

内堀 雅 雄



ち か い

わたしたちは、青少年赤十字の一員として、心と体を強く、健康にし、人のため、地域社会のため、自分ができることを考え、行動していくことをちかいます。

運営委員会委員長 6年 湯田 衣吹



校長のひとりごと

この登録式において、私から子どもたちへ次のような話をしました。

『心は誰にも見えないが 心遣いは見える
思いは見えないけれど 思いやりは誰にでも見える』

『「遊ぼう」というと 「遊ぼう」という
「ばか」というと 「ばか」という 「もう遊ばない」というと 「遊ばない」という
そうして、あとでさみしくなって 「ごめんね」というと 「ごめんね」という
こだまでしょうか。 いいえ だれでも』 やさしく話しかければ、 やさしく相手も答えてくれる

9年前、東日本大震災が発生した後、福島県においても、コンビニやスーパーでは品物がなくなり、ガソリンスタンドからはガソリンがなくなり・・・とても不自由な生活が何日も続きました。

テレビをつけると、今、流れているような番組ではなく、地震関係、原発事故関係の報道番組だけ。コマーシャルも「ACジャパン」というコマーシャルだけがずっと流れているだけ・・・そんな毎日でした。先ほどの言葉は、そんな時に流れていたコマーシャルでの言葉です。さみしい、つらい時だからこそ、人の優しさが、思いやりが、とっても大切なんだ・・・ということを伝えるコマーシャルでした。

青少年赤十字については、今井先生からお話があったとおり、この青少年赤十字の基本になっているのは、皆さん一人一人の「思いやり」「心遣い」だと思います。

やさしく話しかければ、 やさしく相手も答えてくれる・・・「心遣い」「思いやり」のあるやさしさをもった榎原小学校の皆さんであってほしい・・・校長先生は、心の底からそう願っています。